

対面授業と映像授業の間に理解度が異なる理由

名前 鳥光俊佑 学生番号 23B30575
東京工業大学情報理工学院

1. はじめに

本稿では、次のResearch Question(RQ)についての調査とその結果、またその結果に対する考察を述べる。

RQ: 映像授業よりも対面授業の方が理解度が高くなる。

2. 方法

X(旧Twitter)を用いて、次の質問文と選択肢を設けたアンケートを実施した。

質問文:映像授業と対面授業では、どちらの方が授業に対する理解度が高かったと感じますか?

選択肢: 映像授業, 対面授業, 同程度の3つ。

3. 結果

授業理解度に係るアンケートで得た票数は87票で、次の表1のような結果を得た。

表1:授業理解度に係るアンケートの結果

| 理解度が高いと感じた授業形式 | 票数 |
|----------------|------|
| 映像授業 | 22 |
| 対面授業 | 46 |
| 同程度 | 19 |
| | 計87票 |

表1から、およそ半数の人が映像授業よりも対面授業の方が理解度が高いと感じたことが読み取られる。よって、このアンケート結果は、RQ:映像授業よりも対面授業の方が理解度が高くなる。に対してRQが正しいということを裏付けるものとなっている。

4. 考察

この結果のように対面授業の方が理解度が高くなった要因としては、学習環境の違い、友人の存在などといった環境による理由が大きな要因と予想されるが、ここでは言語を発する媒体に注目して考察する。

映像授業と対面授業の大きな違いとして、一部の例外を除き、「視界の中に講義を行う教員が存在するか否か」というものがあげられる。参考文献の調査によると、教員が視界の中にいる状態での映像授業といない状態の映像授業では、前者の方が授業後のテストの成績が良くなるということが明らかとなっている。このように、言語を発する媒体が目の前にいる教員であると意識づけさせることによって、対面授業の理解度は映像授業のそれよりも高くなったと考察される。

この結果は、言語を発する媒体によって物事の捉え方が変わりうることを示唆している。例えば、対面での会議とリモートでの会議では、議論の質に差が出るのではないだろうか。

5. おわりに

RQ: 映像授業よりも対面授業の方が理解度が高くなる。に対する調査として、Xでアンケートを実施したところ、映像授業よりも対面授業の方が理解度が高くなることが確認された。このような結果を得た原因として、言語を発する媒体の違いに着目すると、教員であるかデバイスであるかの違いが対面授業と映像授業の間に生じており、参考文献からもこの違いはRQに対する答えを裏付けるものとみなせる。

参考文献:

児玉秋璃 阪田真己子, オンライン授業の学習効果に影響を与える要因-授業形式と非言語情報に着目して-,第84回全国大会講演論文集, vol.1, pp.957-958.